

蔵王町における群マネの実施方針

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

「技術系職員が少ない市町村における技術的判断・経験が必要な橋梁分野への技術的補完」

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

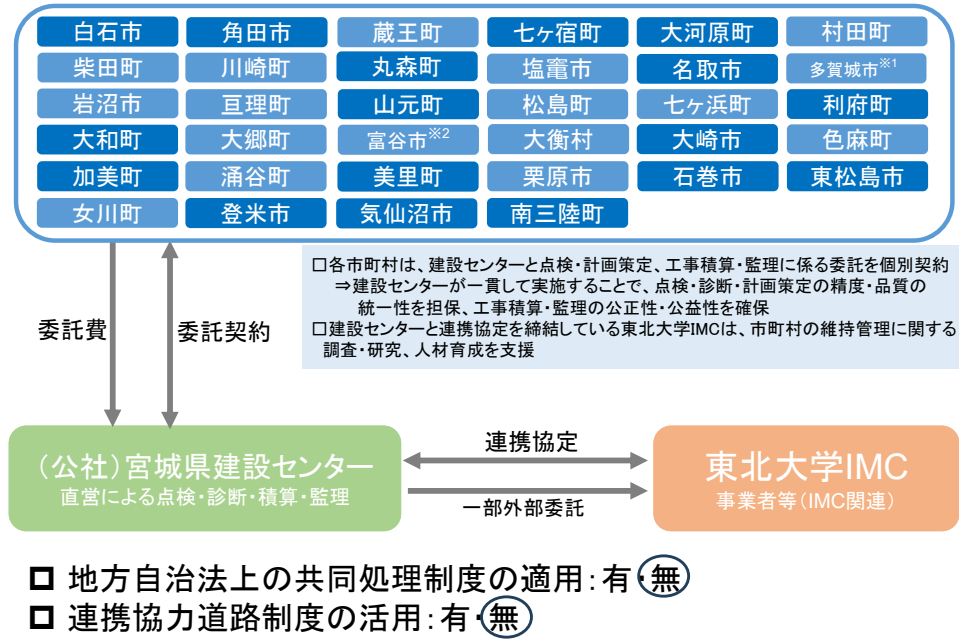
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口 業務	維持 作業	計画 策定	点検	設計	工事
道路		巡回 清掃 除草 剪定	橋梁	橋梁	橋梁	橋梁 (積算・監理)
			舗装	舗装	舗装	舗装
			道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物	道路 附属物
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル

- 平成20年度～
県内34市町村で、計画策定、点検を(公社)宮城県建設センターに委託
- 平成30年度～
一部市町村(17/34自治体)で、工事の積算・監理を同センターに委託
- 令和9年度～
一部市町村で、補修設計を同センターに委託予定(試行)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有・**無**
- 性能規定の導入 : 有・**無**

(2) 自治体の東



(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

⇒ 市町村の技術職員を対象とした東北大学IMCとの連携協定に基づくインフラメンテナンス勉強会、新技術等の実証現場見学会等により情報共有を図る。

② データ連携の具体メニュー

⇒ 建設センターでは、東北大学IMCとの共同研究で構築した「橋梁等維持管理システム」を活用し、1巡目から蓄積された点検・診断データを一括管理・公開し、調査・分析することで最適な維持管理方針や長寿命化修繕計画を立案。